

令和元年度決算に係る
定期監査資料

令和2年月

鳥取家畜保健衛生所

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	職員の定員、現員調べ	1
4	役付職員の調べ	1
5	主な事業に関する調べ	2
6	収入証紙取扱額調べ	4
7	現金の取扱状況	4
8	財産に関する調べ	4
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
9	財産の貸付け及び使用許可調べ	7
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
10	借受不動産明細調べ	8
11	職員駐車場の管理状況調べ	8
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
12	寄附物件の受納状況調べ	8
13	備品の処分状況調べ	8
14	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	8
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
15	事業別予算執行状況調べ	9
16	家畜保健衛生事業	9
	(1) 管内家畜類の飼養状況調べ	
	(2) 各事業別の実施状況調べ	
○	意見、要望等	10

事業別	業務内容	実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備考
家畜衛生対策事業	家畜衛生関連情報整備対策	情報収集	4月-3月	管内一円	12回	9回	
	動物用医薬品危機管理対策	薬剤耐性菌の発現状況検査	"	"	全県で 随時採材		対象菌:カモネギ、 ブドウ球菌 カモネギ(牛・豚)2検体 ブドウ球菌:20検体
		医薬品使用実態立入調査	"	"	12戸	11戸	酪農家の医薬品使用実態
		医薬品販売業者等立入検査	"	"	19店舗	19店舗	動物用医薬品販売業者
	地域衛生管理対策	乳房炎検査指導	"	"	検査延26検体 検討会1回	検査延22検体 検討会1回	バルク乳検査 (管内酪農家全戸)
		幼畜疾病対策分析指導	"	"	牛5戸×4回 豚5戸×4回 検討会1回	牛5戸×4回 豚3戸×4回 検討会1回	子牛・子豚の肺炎、下痢症

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし

15 事業別予算執行状況調べ

目名	家畜保健衛生費	(令和2年3月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
家畜衛生総合対策事業	「5 主な事業に対する調べに記載」	

16 家畜保健衛生事業

(1) 管内家畜類の飼養状況調べ

家畜種別	平成31年2月1日	前年同期	備考
乳用牛	12戸 1,431頭	12戸 759頭	
肉用牛	52戸 5,032頭	49戸 3,092頭	
養豚	4戸 1,720頭	4戸 1,705頭	
養鶏	7戸 442千羽	7戸 442千羽	

(注) 鳥取県畜産課調べ

(2) 各事業別の実施状況調べ

(令和2年3月31日現在)

事業別	業務内容	実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備考
家畜伝染病予防事業	ブルセラ病	検査	4月-3月	管内一円	60頭	114頭	
	結核病	〃	〃	〃	95頭	92頭	
	ヨーネ病	〃	〃	〃	1,151頭	944頭	家伝法51条 県外導入牛167頭を含む
	ニューカッスル病	〃	〃	〃	420羽	660羽	
	ふそ病	〃	5月-8月	〃	500群	362群	
	牛伝染性疾病	〃	4月-3月	〃	5,500頭	5,889頭	
	豚伝染性疾病	〃	〃	〃	1,800頭	1,370頭	
	鶏伝染性疾病	〃	〃	〃	442千羽	442千羽	
	馬伝染性疾病	〃	〃	〃	24頭	0頭	
	羊伝染性疾病	〃	〃	〃	26頭	0頭	
	牛アカバネ病等	〃	6月-11月	〃	72頭	63頭	
	牛白血病	〃	4月-3月	〃	110頭	548頭	
	牛ウイリス性下痢・粘膜病	〃	〃	〃	449頭	358頭	県外導入牛、未検査入牧牛、パル乳
	牛サルモネラ症	〃	〃	〃	120頭	112頭	
	オースキ病	〃	〃	〃	106頭	50頭	
	豚コレラ	〃	〃	〃	40頭	66頭	
	豚繁殖・呼吸器障害	〃	〃	〃	50頭	50頭	
	豚サルモネラ症	〃	〃	〃	20頭	20頭	
	高病原性鳥インフルエンザ	〃	〃	〃	450羽	510羽	
	鶏サルモネラ症	〃	〃	〃	9羽	600羽	
病性鑑定	〃	〃	〃	—	311件	牛294、鶏7、豚6、その他4 (牛白血病発生3件)	

(2) 物品

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料 (円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住所	氏名			
動力噴霧器	1	初田工業LP450MEDX	R2.4.1~R3.3.31	月額・年額	0円	個人	個人	若杉町	家畜伝染病まん延防止のため の車両消毒	
合計										

10 借受不動産明細調べ

該当なし

11 職員駐車場の管理状況調べ

(1) 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付 (使用) 料 (月額) (円)
行政財産	鳥取市国安高土手 210-13	12.5	1,000
普通財産			

(2) 減免の考え方

該当なし

(3) 使用料の見直し

令和元年9月18日

12 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

13 備品の処分状況調べ

品名	取得年月日	不 用 決 年 月 日	処分			備考
			売却 の 別	売却方法・ 棄却理由	処分 年月日	
乾熱滅菌器ヤマト科学SH-62	H5.7.15	R2.3.19	棄却	修理不能	R2.3.19	0円
合計						0円

14 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

有・無

(2) 物品の照合

有・無

9 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

(令和2年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	
行政財産	配電線施設	鳥取市国安210	支柱等6本	H26.12.11	H7.4.1	H27.4.1~R2.3.31	年額9,000	鳥取市新品治1番地6 中国電力(株)鳥取営業所	文書ID:14-00126377 ID:18-00148723
			支柱等5本	H30.5.10	H30.5.10	R2.3.31	年額7,500	鳥取市新品治1番地6 中国電力(株)鳥取営業所	文書ID:18-00045029
計							16,500		
普通財産	路面排水用側溝	鳥取市国安210-13	3.0㎡	H26.2.10	H21.4.1	H31.4.1~R6.3.31	年額1,621	鳥取市国安210番地 鳥取市水道事業管理者	文書ID:18-00323494
計							1,621		
合計							18,121		

イ 建物

(令和2年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	
行政財産	(公社)鳥取県畜産推進機構の薬品庫設置場所	鳥取市国安210	1.0㎡	H30.2.7	H21.4.1	H31.4.1~R2.3.31	年額4,950	鳥取市末広温泉町733番地 (公社)鳥取県畜産推進機構	文書ID:18-00324662 ID:19-00174157
計							4,950		
合計							4,950		

ウ 山林
該当なし

エ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮きドック、航空機）
該当なし

オ 物 権
該当なし

カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）
該当なし

キ 有価証券
該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 ・ 無

(令和2年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		差 引	備 考
		受 入 額	払 出 額		
郵便切手及び郵便はがき	円 5,563	円 32,930	円 32,146	円 6,347	
収入印紙					
収入証紙					
タクシークーポン券					
鉄道バスプリペイドカード					
合 計	5,563	32,930	32,146	6,347	

イ タクシーチケットの受払状況
該当なし

イ 建物

(令和2年3月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				差引		備考		
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日		面積 (㎡)	価額 (円)
行政財産	事務所	鳥取市国安高 土手210-13	399.36	不明	増加	H					399.36	不明	
					減少	H							
	車庫	"	23.45	不明	増加	H					23.45	不明	
					減少	H							
	焼却炉上 屋	鳥取市国安高 土手210-9	17.50	不明	増加	H					17.50	不明	
					減少	H							
	焼却炉上 屋	"	19.04	不明	増加	H					19.04	不明	
					減少	H							
	解剖室	"	24.90	不明	増加	H					24.90	不明	
					減少	H							
	事務所・家 畜診療所	鳥取市国安高 土手210-19	217.47	不明	増加	H					217.47	不明	
					減少	H							
公用車駐 車場	"	36.40	不明	増加	H					36.40	不明		
				減少	H								
計			738.12	不明						738.12	不明		
普通財産					増加	H							
計					減少	H							
合計			738.12	不明				0		738.12	不明		

6 収入証紙取扱額調べ
 (有) ・ 無

7 現金の取扱状況

現金取扱状況		(令和2年3月31日現在)	
収入科目(節)	収入済額(円)	件数(件)	備考
畜産業手数料	22,920	24	家畜防疫手数料 22,920
合計	22,920	24	

イ つり銭の状況

つり銭の有無		(令和2年3月31日現在)	
無	つり銭の額(円)		

なし

8 財産に関する調べ

(1) 公有財産
 ア 土地

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				差引		備考		
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日		面積(m ²)	価額(円)
行政財産	鳥取家畜保健衛生所用地	鳥取市国安高土手 210-9	764.56	0	増加 H						764.56	0	
					減少 H								
		鳥取市国安高土手 210-13	2,044.53	0	増加 H							2,044.53	0
					減少 H								
		鳥取市国安高土手 210-19	678.93	0	増加 H							678.93	0
					減少 H								
計			3,488.02	0						3,488.02	0		
普通財産	鳥取家畜保健衛生所通路	鳥取市国安高土手 210-13	337.02	0	増加 H						337.02	0	
					減少 H								
計			337.02	0						337.02	0		
合計			3,825.04	0						3,825.04	0		

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
家畜衛生総合対策事業(家畜伝染病予防事業)	615	415		200
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

家畜伝染病予防法に基づき、家畜の伝染病の発生を予防するための各種検査とまん延防止措置を行う。

(イ) 事業の実施状況

① 家畜伝染病予防法第5条による告示検査

畜種名	牛			鶏		みつばち
	結核病	3ネ病	BVD・MD	ニューカッスル病	HPAI	ふそ病
頭羽数	92頭	777頭	163頭	660羽	510羽	362群
備考	—	—	—	—	7農場	—

注) BVD・MD：牛ウイルス性下痢・粘膜病、HPAI：高病原性鳥インフルエンザ

② 病性鑑定の実施

畜種	牛	豚	鶏	その他(みつばち)
件数	434件	5件	16件	1件

③ 口蹄疫・HPAIの防疫対策

○東部地区特定家畜伝染病防疫対応訓練の開催 12月4日

内容：鳥インフルエンザ及びGNF(豚熱)についての総論説明、初動防疫の流れと各担当の役割分担について検証
現地総合対策チーム各班の役割確認集合施設運営訓練、消毒ポイントにおける車両消毒の訓練

出席者：東部・八頭農林事務所職員、市町及び関係団体 出席者：約120名 見学者：約20名

○県境防疫及び研修への参加

・兵庫県との県境防疫(10月30日：鳥取県畜産課1名、鳥取家保2名、兵庫県朝来家保5名)

④ 定期報告及び飼養衛生管理基準の周知徹底

随時、農家への個別巡回を実施した(延べ554戸)。特に酪農家へは大山乳業農協等と連携して、全農家に対して年2回、個別巡回指導した。

⑤ CSF発生への対応

平成30年9月9日に岐阜県において養豚場でのCSFの発生があったから国内で58例に及ぶ発生があった。家保では管内養豚農家に対し、異常豚及び疫学的関連の有無の聞き取りや消毒薬等の配布を実施した。また、家畜伝染病予防法・飼養衛生管理基準の改正に対応するため、野生動物侵入防止対策の現地確認指導強化や管内養豚の防護柵設置に関して支援を行った。野生いのししにおけるGNFウイルスの浸潤状況を調査するため、管内で死亡もしくは捕獲された野生いのししの血液20検体について倉吉家畜保健衛生所において抗体検査を実施し、全頭陰性であった。

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善に取り組んだ点

効率的に業務が行えるように関係機関や職員間での情報の共有化を行った。

ウ 成果及び効果

- 告示検査の結果：法定伝染病の発生は認められなかった。
- 家畜病性鑑定の結果、届出伝染病5件(牛白血病3件、BVD・MD1件、破傷風1件)の発生が確認された。また、と場で届出伝染病13件(白血病11件、豚丹毒2件)の発生が確認された。
- 東部地区特定家畜伝染病防疫対応訓練を継続することで、関係者の意識向上が図られている。

エ 課題

口蹄疫、CSF及びHPAIは、県内でも発生が危惧される疾病であり、発生時の対応強化のため、県全体での管理体制の一層の強化と県全体での防疫演習が必要である。特に国内でCSFが発生しており、養豚農家の飼養衛生管理基準の徹底がより重要となっているため、一層の周知・指導が必要となる。

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
家畜衛生総合対策事業（家畜衛生対策事業）	1,690	845		845
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

地域衛生管理対策等の各事業を実施することにより、家畜衛生管理体制を整備し、安全・安心な畜産物生産を推進する。

(イ) 事業の実施状況

① 家畜衛生関連情報整備対策：

病性鑑定や農家巡回を実施することにより、家畜疾病の発生状況等を把握し、月ごとの家畜衛生関連情報を国に報告した。また、月一回、東部家畜防疫協議会を開催し、臨床獣医師との情報交換や家畜衛生関連情報を提供した。

② 動物用医薬品危機管理対策：

動物用医薬品販売業者及び臨床獣医師に対する動物用医薬品の適正な管理、流通、使用の指導

・動物用医薬品販売店立入検査 19店舗

③ 地域内の伝染性疾病の清浄性維持

・乳房炎対策 11戸 延22検体（バル乳：出荷前の牛乳）

・幼畜疾病対策 8戸（牛5戸、豚3戸）×4回、延32戸

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善に取り組んだ点

③の乳房炎対策として、3農家で牛舎・搾乳施設の細菌検査を行い、従業員にその結果について説明し、乳房炎対策の参考としてもらった。

ウ 成果及び効果

②の動物用医薬品販売店立入検査は19店舗を実施したが、問題はなかった。

③の乳房炎については、牛舎・搾乳施設の細菌検査を行い、従業員にその結果について説明することで伝染性乳房炎のまん延防止や搾乳衛生に対する意識が向上した。

・伝染性乳房炎(SA)の陽性率

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1
陽性率	47%	53%	44%	29%	42%	46%

③の幼畜疾病対策については、疾病原因を分析し、農場ごとに早期発見、早期対策を実施した。

・牛：消毒や牛舎の改善によって子牛事故の低減を図った。

・豚：離乳後の豚房消毒、感染していない種豚の導入などを指導し、衛生対策の徹底を図った。

エ 課題

③の乳房炎については、SA陽性となる農家が増加しており、関係者（大山乳業農協・臨床獣医師）と連携し、伝染性乳房炎原因菌や発生要因の分析結果に応じ、搾乳機器の点検・保守、有効薬剤の検証と治療、感染牛の摘発・とう汰などのまん延防止対策を、引き続き指導していく必要がある。

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

（令和2年4月1日現在）

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計			備考
	当該年度	31.4.1現在	当該年度	31.4.1現在	当該年度	31.4.1現在	当該年度	31.4.1現在	31.4.1現在	
定員	0	0	6	6	—	—	6	6	6	
現員	0	0	(2) 8	(1) 7	—	—	(2) 8	(1) 7	(1) 7	・1名が休職中 (H29.12.19~R2.5.24) ・1名が介護休職中
過不足(Δ)			2	1			2	1	1	介護休暇職員の増
臨時職員										
非常勤職員	1	1	—	—	—	—	1	1	1	一般事務

4 役付職員の調べ

（令和2年5月1日現在）

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
所長	青萩芳幸	1	1	
次長	山根法明	3	1	出納員 (通算6年1月)
課長補佐	森利之		1	
課長補佐	尾崎裕昭		1	